

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人まちづくり山形		
事業名	歴史文化をつなぎ編むまちづくり		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	682,083 円
		うち助成金額	494,752 円
事業実施期間	令和5年6月6日～令和6年2月29日まで		

(事業目的)

都市計画道路事業における街づくり委員会の支援活動を行うとともに、中心市街地の歴史的建築物等をつないで、歴史文化を生かしたまちづくりの実現に向け、民間側から有効な活動を実施します。公的な事業が必要であってもそれが無い場合に民間側で可能な活動を実施し、ネットワークをつなぎ広げて民間の意思を拡大し、公的事業にもつなげて歴史文化を生かした総合的な街づくりにすることが目的です。

(実施内容)

歴史的文化的要素を活用して街づくりにつなげるため、民間側で可能なことをひろく協働して実行しその可能性を広げる活動をしました。具体的には、以下の通りです。

- ① 10月15日(日)9:30-12:00 参加者15名
講義: 山形大学人文社会学科教室; 松尾剛次
寺町界限まちあるき: 山大から笹堰、御殿堰を確認し専称寺のこま姫墓、イチョウ大樹などと南の寺院群を抜けて、山大に戻りました。各場所で説明を聞きながら歩きました。
- ② 11月18日(土)9:30-15:00 参加者30名
北高講堂・教育資料館前庭に集合、3グループに分かれて三島通り界限まちあるき、正午に旧千歳館で出前天井の昼食後2時間、別途3グループごとに机に着いて話し合いその議事録を作成しました。アンケートは集計し内部的に活用しました。また、募集のチラシ作成・配布、マスコミへの通知を行い2回とも山形新聞から取材をいただきました。なお、三島通り界限まちあるきでは地元町内会の協力をいただき、事前に20町内会でチラシ回覧、事後にまち歩き報告のA3チラシを作成し約2000世帯へ全戸配布していただきました。

事業目的・実施内容



事業の成果

まち歩き①参加者のアンケート結果は回答者 14 名中11名が満足、今後参加したいイベントは、他の場所のまち歩きが11名などでありました。まち歩き②参加者のアンケート結果は多岐にわたりますけれども、まち歩き②の自由記入数が13, 昼食後のそれが14と約半数の方から回答いただきました。内容はまち歩き、まちづくりに対して積極的な発言、応援する発言などをいただきました。

街あるき①, ②とも山形新聞記事に掲載され、広く周知されました。また街あるき②の報告をカラーA3 判チラシに要約し、界隈の約2000戸に町内会のご協力により配布でき、三島通り界隈が山形市の近代化発祥の地であることを報告できました。

今後の展望

NPO まちづくり山形が中心になって、ツアーの企画運営を継続して行なうなかで、連携する団体と協働しながら、その他の事業を企画し実行していきます。その目的は中心市街地のにぎわいを創出するなどまちづくりにつなげることです。山形の中心市街地のまちづくりに関して、民間側で積極的に情報収集し適切な時期に提言するなど、まちづくりに資する継続的な団体活動を行います。



団体概要
 団体名 特定非営利活動法人まちづくり山形
 代表者 相羽 康郎
 URL <http://matidukuriyamagata.work>